



# 学生移動 (Student Mobility) の ビジョンと最新の傾向

**Assoc. Prof. Dr. Sauwakon Ratanawijitrasin**  
**東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター**  
**(SEAMEO-RIHED) センター長**

2013年10月1日

ASEAN+3高等教育質保証フォーラム基調講演



# 拡大する国際的な学生移動

## 外国人留学生の人数

- 1990年は130万人\* → 2011年は430万人\*
- 世界の外国人留学生の50%以上はアジア人\*
- 北東アジア出身は34%以下\*\*
- 東南アジア出身は8%以下\*\*
- 大学入学者(学部生)に占める割合が増加\*\*\*

参考:

\* OECD(2013)

\*\* OECD掲載のデータより算出(2013)

\*\*\* UNESCO(2012)



# 拡大する国際的な学生移動

## 東南アジア留学生の動向

- 各OECD（経済協力開発機構）加盟国における東南アジア各国からの留学生の割合は63%～94%\*\*
- 自国以外の東南アジア各国に留学している東南アジア留学生は11%以下\*\*\*\*

参考:

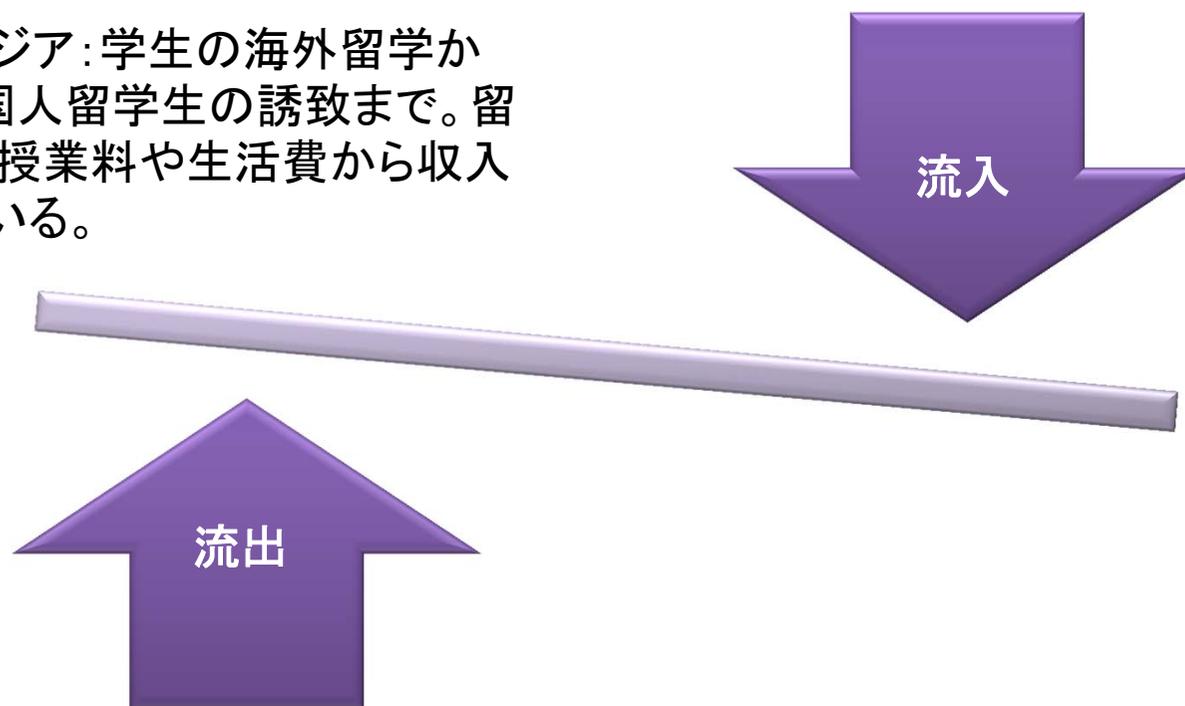
\*\* OECD掲載のデータより算出(2013)

\*\*\*\*UIS (2013)



## 学生移動

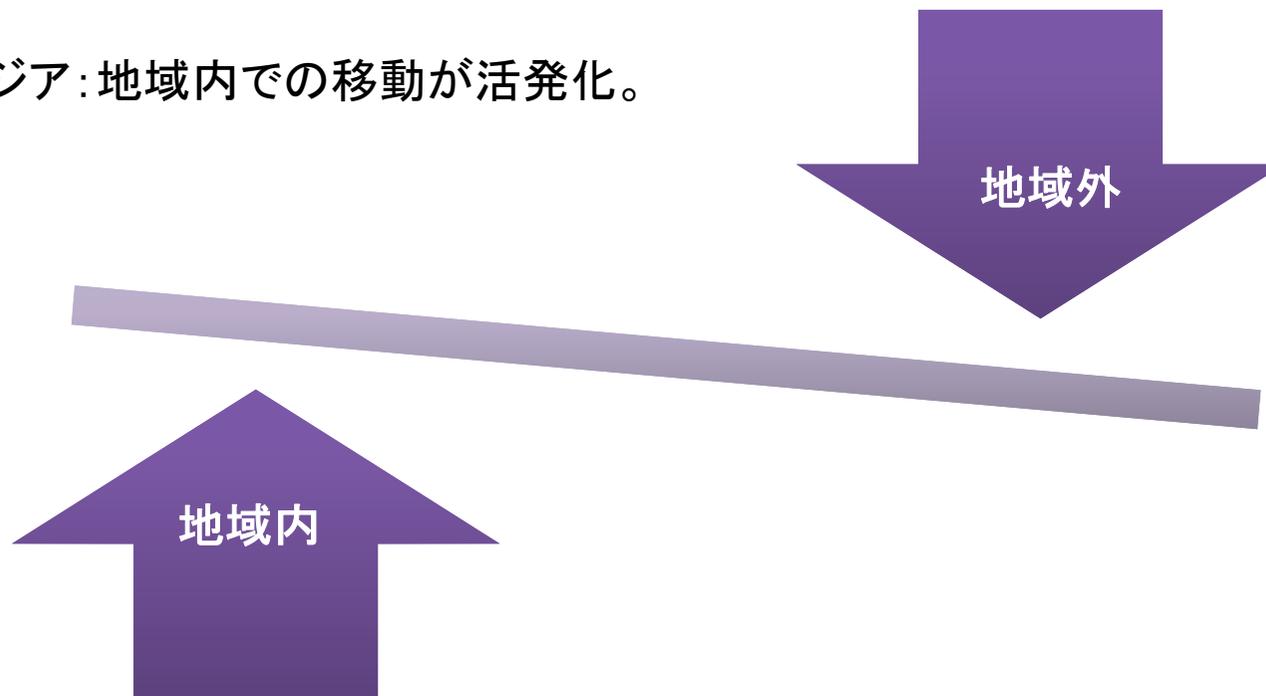
東南アジア: 学生の海外留学から、外国人留学生の誘致まで。留学生の授業料や生活費から収入を得ている。



# 最新の傾向

## 学生移動

アジア: 地域内での移動が活発化。



# 最新の傾向

## 学生移動：交流のプラットフォーム

多国間の提携に基づき、学生交流が活発化している。



二国間での  
提携



多国間での  
提携



## プログラムの互換性

- 共同学位
- ダブルディグリー／デュアルディグリープログラム
- 姉妹提携(ツイニング)／パートナー提携:「2+1」  
「2+2」「3+0」等
- フランチャイズプログラム
- 遠隔／オンラインプログラム



# 最新の傾向

## 教育機関の移動

アジア: 分校、海外校

受入機関

提供機関





# 東南アジア:30年以上に渡る 加速した社会・経済交流

## 主な原動力:

- 国の政策
  - \* 経済開発 → 富と需要の増大
  - \* 教育改革と支援 → 国際化、奨学金の充実
- グローバリゼーション
  - \* 貿易
  - \* 技術
  - \* 人類共通課題の探究
  - \* 国際協定(GATS)
- 地域化
  - \* ASEANのコミュニティ





# 利点

- 知識とスキル
- 雇用機会
- 国家や組織レベルでの能力開発
- 国際的な理解
- 経済や高等教育機関のための収入源



# グローバル人材の育成

## 制度を超えた能力を持つ人材

- 何を知っているか (know what)
- ノウハウ(制度の仕組みを知る)をもっているか
- 誰を知っているか (know who)



# 何を知っているか (know what)

## 実質的な知識とスキル

- 最先端の知識
- ローカル・ノレッジ

知識の格差

スキルの格差





# ノウハウ(背景)

- 文化
- 政治
- 社会
- 経済
- 組織

文化の差...





## 誰を知っているか (know who)

- 教授
- 同級生
- 同僚
- ネットワーク
- 個人的な友人



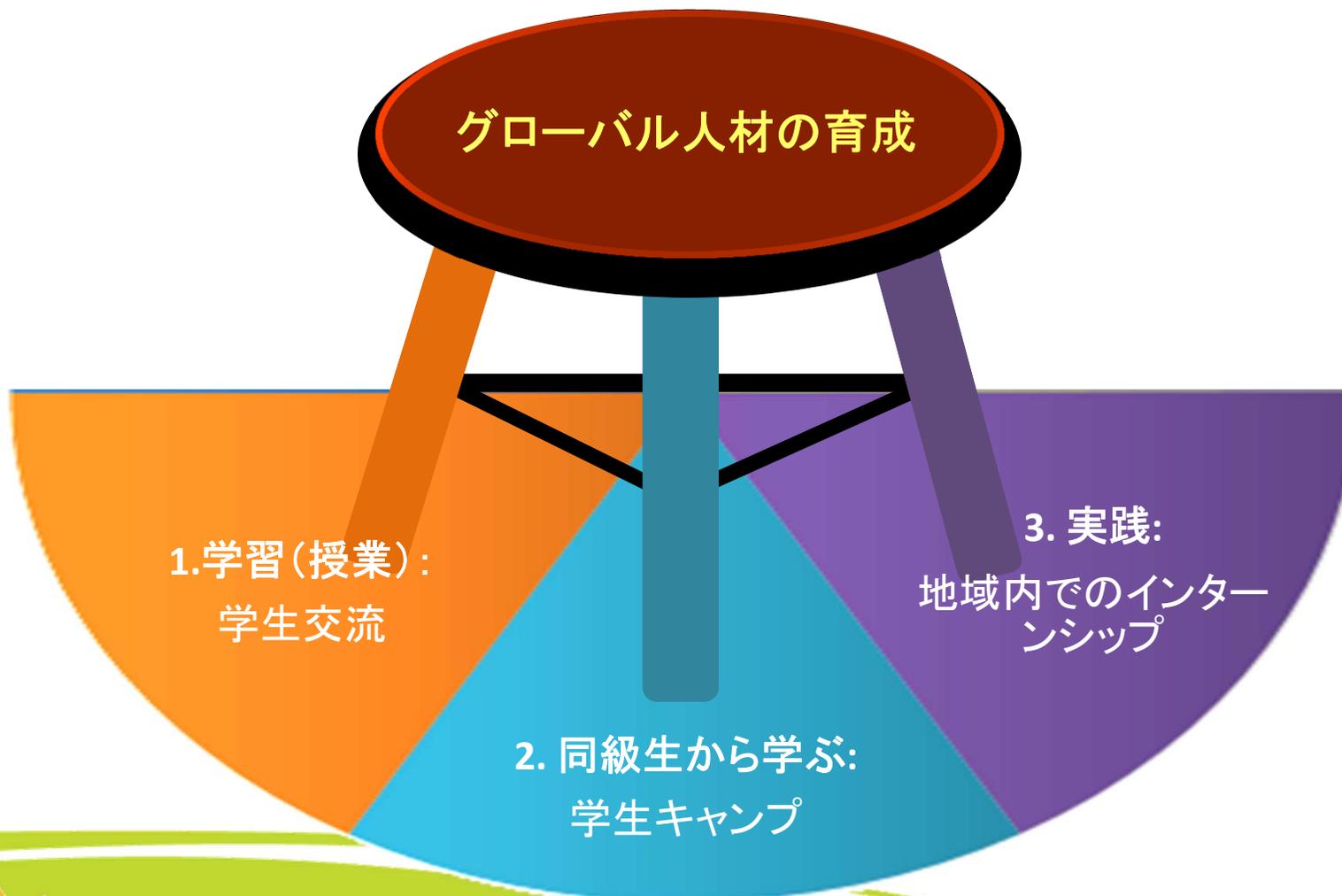


# 学生移動のコストと利益

- コスト: 足し算
- 利益: 掛け算



# 移動の諸段階



## 国レベル及び地域・世界レベル

### 重要な政策手段

- 資金調達
- 認証：教育機関、教育プログラムー学位
- 単位の互換性

### その他の政策手段

- 学年暦
- ビザ等



# 支援の仕組み

## 国レベル及び教育機関レベル

- 奨学金、融資制度
- 教育機関、プログラム、その他の情報
- 居住設備
- 健康保険
- 語学指導
- 行政支援、社会的支援
- 学術連携・産学連携
- 他



# ASEAN学生交流(AIMS)プログラム



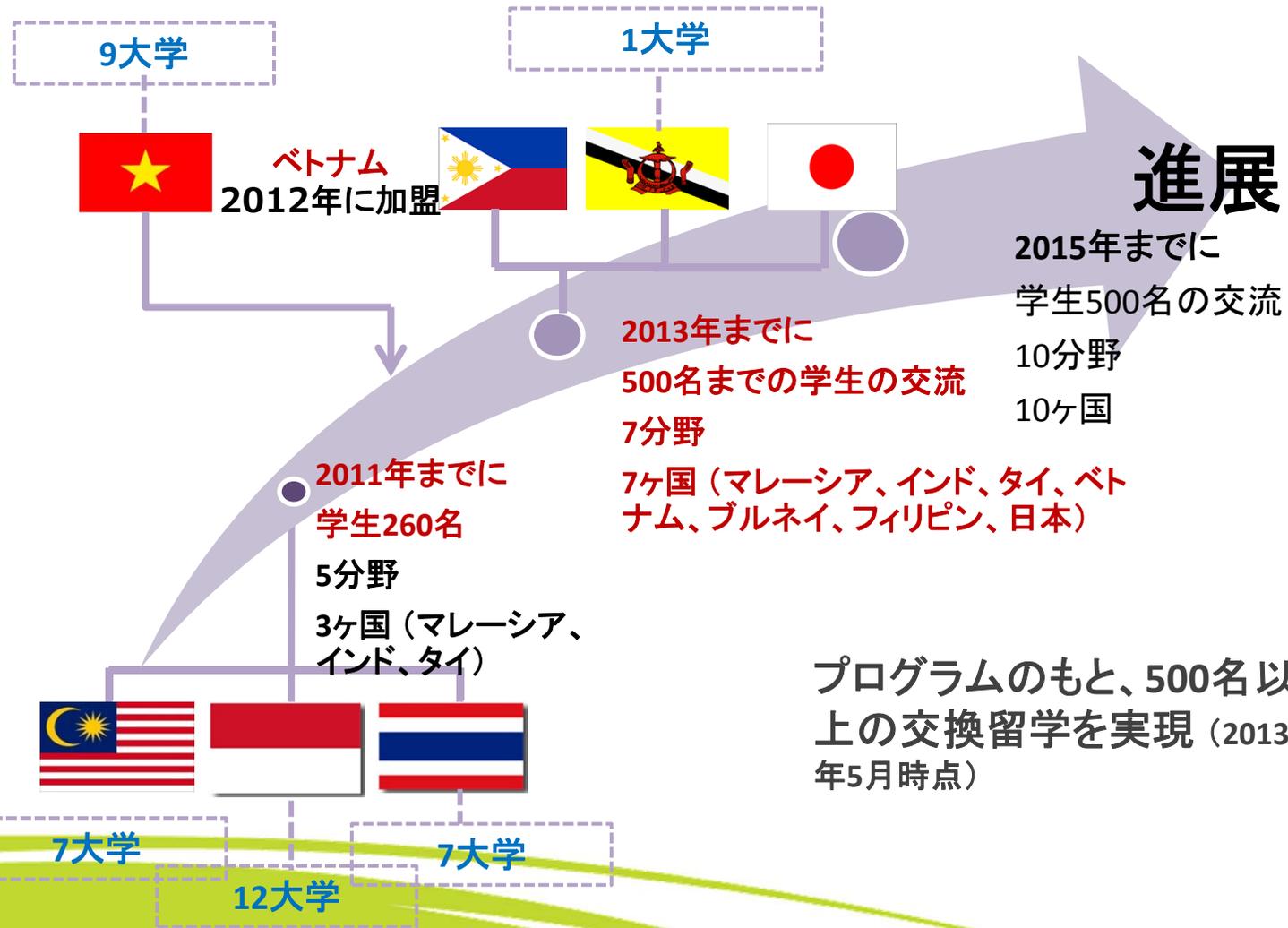


# AIMS: プログラムの概要

- 複数の国にまたがる学生交流プログラム
- 2010年にMIT(マレーシア-インド-タイ)学生交流プログラムとして開始した
- 交流拡大に伴い、名称を**ASEAN学生交流プログラム(AIMS)**へと変更



# AIMS: 加盟国と人数



プログラムのもと、500名以上の交換留学を実現 (2013年5月時点)

# AIMS: 交流分野

## 当初は5つの交流分野

ホスピタリティ、観光

農学

語学、文化

国際ビジネス

食品科学技術



## 2つの新規の 交流分野

工学

経済学



# AIMS: 学生交流の現状



大学生(学部生)



国際教育プログラム



学問分野

• 加盟国全体で決定する

多国間の枠組み  
省庁及び高等教育機関

省庁が指定する高等教育機関

政府奨学金

\* 他の資金源からの追加調達が  
望まれる。

- 高等教育機関間で締結した二  
国間協定に基づき実施された  
交換留学の具体的な件数や交  
換留学生の人数
- 高等教育機関間でのカリキュ  
ラムやシラバスの共有





## AIMS: 合意済みの任意的措置

- 交換留学生の人数に関する相互主義
- 新加盟国に対する政府奨学金の件数
- 学生交流への出資



# ACTFA

## アジア単位互換制度 (Academic Credit Transfer Framework for Asia)



# ACTFA

- **ADB**が投資する政策措置に関する研究から発展
- 基本要素に焦点を当てている: **課程** → モジュール、学期、四学期制の課程に適用できる
- 制度の構成要素レベルで管理を行う



# ACTFAの4つの主要構成要素



# アジア単位互換制度 (ACTFA)

## I. 相互認証

- 認証のレベル
  - 教育機関レベル
  - 教育プログラムレベル

(合意必須)

## II. 単位

- 科目の種類  
(必須・選択)
- 授業の時間数

(合意必須)

## III. 成績

- 段階評価  
(成績評価平均点(GPA)の計算に含まれる)
- 可・不可の二段階評価  
(成績評価平均点(GPA)の計算には含まれない)

(任意)

## IV. 情報インフラ

- 公認の組織によるアクレディテーションの証明書
  - 受講内容
  - 時間数と単位の数
  - 合意済みの学習計画
  - 他



# 学生移動の推進： 共同行動への呼びかけ

## 学生交流のための多国間プラットフォームの確立と強化

- 奨学金: 様々な資金源
- 奨学金: 能力に対応した受給資格
- 一般的な原則について合意し、多様性を育てられる柔軟性を培う
- 政府及び高等教育機関の積極的な役割
- 幅広い基盤





# 学生移動の推進: 共同行動への呼びかけ

## プログラムと協力形態

- 地域の強みを活かした教育プログラム
- 多様な協力形態: 共同プログラム等
- 大学院生を巻き込んだ共同研究
- 海外インターンシッププログラム
- 国境を超えた社会事業プログラム





# 学生移動の推進: 共同行動への呼びかけ

## 協調

- 認証
- 単位互換
- 卒業証書の補完性
- 学年暦





# 学生移動の推進: 共同行動への呼びかけ

## 質保証

- 国及び機関の質保証
- 地域の枠組み
  - 質保証の枠組み
  - 学位・資格の枠組み
- 急速に変化している高等教育の環境において、質を確保することが求められている:
  - 高等教育機関の増加—公立及び私立
  - 非常に多様な、非伝統的プログラムの出現
  - 新しい機関による留学手配—海外での教育(オフショア)



# 質保証

インプットやプロセスに注目→アウトプットや成果に注目





# 学生移動の推進: 共同行動への呼びかけ

協調

- 同等性
- 互換性

&

多様性

- 需要を満たす
- 傾向を捉える





末永く続く繁栄と平和のため、  
地域で協力し、  
グローバル人材を育成する。





ありがとうございました。

**SEAMEO RIHED**  
**Your Partner in Higher Education**

[www.rihed.seameo.org](http://www.rihed.seameo.org)